

リリーサポートサービス ケサンラご相談窓口のご案内

ケサンラによる治療を受けている方とご家族・介護者専用の
コールセンターです。

お薬に関するちょっとした疑問のほか、日常生活での悩みごとなど、私たちに
お気軽にご相談ください。あなたの不安や疑問に寄り添い、安心してケサンラ
による治療を開始し、続けるサポートをします。

副作用や治療費など、
ちょっと疑問があるけど、
誰に聞けばいいかな

治療に関する不安を
誰かに聞いてほしい

母の治療のことで
先生に聞きそびれて
しまったことがある

ご本人

ご家族

いつでも
無料、
365日対応

リリーサポートサービス ケサンラご相談窓口
(受付時間 365日 9:00~17:00)

0120-062-280

- * 患者さんの症状や治療内容に関する個別のアドバイスは医療行為にあたるため、提供していません。
- * 患者さんの個人情報は、個人情報保護方針(プライバシー・ポリシー)に従い適正な管理を行うとともに、個人情報の保護を実施しています。

医療機関名

担当医名

医療機関電話番号
(緊急時の連絡先)

日本イーライリリー株式会社

KSL-N001(R1) 2024年11月作成

医薬品リスク管理計画
(RMP)

本資料はRMPの一環として位置付けられた資料です

Lilly

ケサンラ®による
治療を受ける方と
ご家族・介護者の方へ

安全に治療をお受けいただくために

もくじ

はじめに ケサンラとは	2
ケサンラの投与で特に注意が必要な副作用	3
1. アミロイド関連画像異常(ARIA)、脳出血	3
2. 重篤な過敏症(アナフィラキシーを含む)	4
ケサンラの投与とMRI検査のスケジュール	5
ケサンラの治療を受けている病院以外を受診する際には、 必ずケサンラの治療を受けていることを伝えましょう。...	6

はじめに

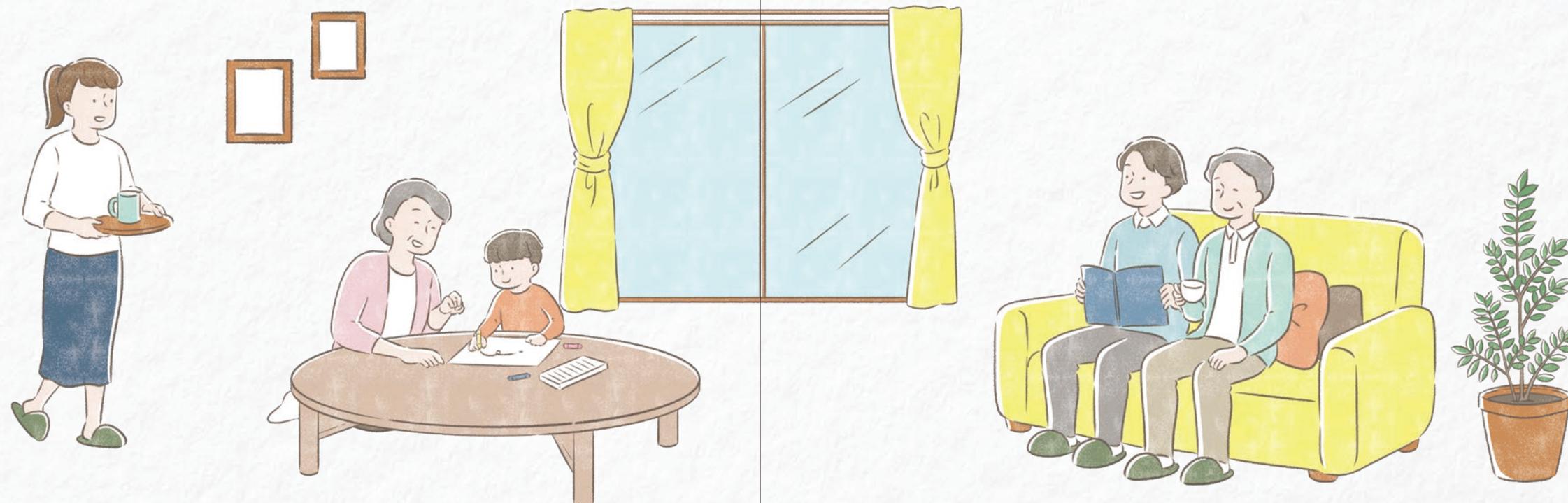
ケサンラとは

ケサンラは、アルツハイマー病の原因と考えられている脳内のアミロイド β プラークを取り除きます。これにより、アルツハイマー病による軽度認知障害および軽度の認知症の進行を遅くする効果が期待されています。

このような効果が期待される一方で、ケサンラのようなアミロイド β プラークを取り除くお薬を使用すると、本資料で説明している副作用があらわれることがあります。

副作用が生じても、主治医と共に早期に発見できるよう注意して、治療を継続していきましょう。

ケサンラが、大切な人々とのかけがえのない時間をより長く、あなたらしく過ごしていくための、一助となることを願っています。



ケサンラの投与で特に**注意が必要な副作用**

1. アミロイド関連画像異常 (ARIA)、脳出血

ARIAは、脳のむくみや脳の一部の出血などがMRI検査で認められる画像所見です。これらは脳からアミロイド β プラークが除去される際、一時的に体液や血液が血管の外に漏れ出すことで起こるといわれており、ケサンラのようなアミロイド β プラークを除去する薬を使用すると発現する可能性があります。多くの場合、症状がありませんが、症状を伴う場合もあります。

なお、脳出血が見られることがあります。主な症状としては、突然意識が低下・消失する、手足が動かない、頭痛、嘔吐、めまい、言葉がでないなどがあります。

ARIAに関連する症状には、下記のようなものがあります。

- 頭痛
- 錯乱
(注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない)
- 吐き気
- めまい
- けいれん(手足の震え) など



治療を受けられる方

上記のような症状があらわれた場合は、に連絡して受診する、もしくはご家族、

ご家族、介護者の方

ご家族・介護者の方も、ケサンラの投与を普段と様子が異なる場合には、ケサンラの

2. 重篤な過敏症 (アナフィラキシーを含む)

ケサンラの投与で、重篤な過敏症があらわれる可能性があります。多くは投与中または投与終了後30分以内であらわれるので、**医療機関の指示に従い、しばらく様子を見ましょう。**

重篤な過敏症に関連する症状には、下記のようなものがあります。

- 赤い湿疹
- 寒気
- 吐き気
- 嘔吐(おうと)
- 汗をかく
- 息苦しい(呼吸困難) など



ケサンラの治療を受けている病院に速やか
介護者に伝えてください。

受けている方の状態の変化について観察し、
治療を受けている病院に速やかに連絡してください。



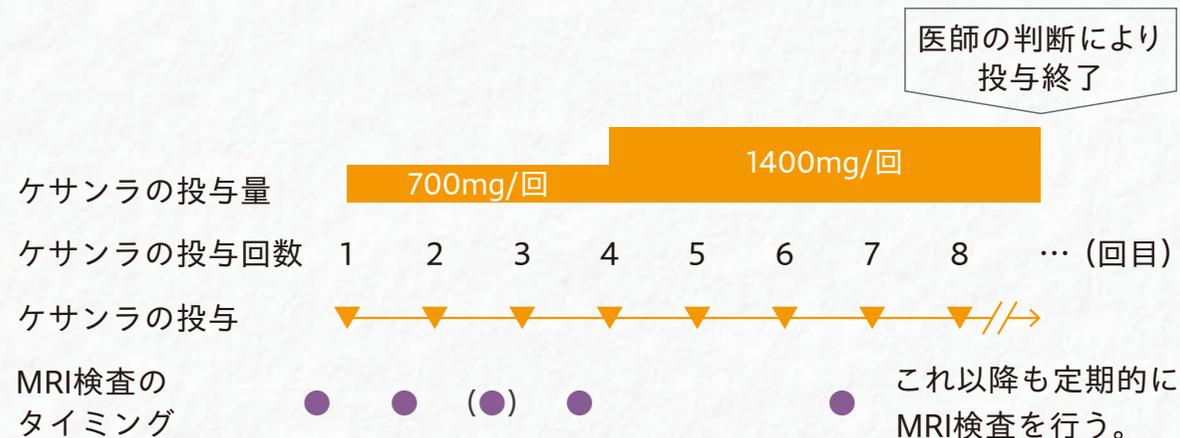
ケサンラの投与とMRI検査のスケジュール

投与の方法と間隔

ケサンラは、4週間に1回、少なくとも30分かけて点滴により投与します。原則として投与開始後、最長18ヵ月でケサンラによる治療を完了します*。
*治療の状況および副作用の発現状況により、18ヵ月より早く医師が治療の中止・完了を判断する場合があります。

MRI検査のスケジュール

MRI検査は、投与開始前(1年以内)、2回目の投与前、1400mg/回への増量前(通常4回目の投与前)、7回目の投与前など、それぞれの投与前に行います。医師の判断により3回目の投与前に行うこともあり、ARIAを疑う症状(3ページ参照)があらわれた場合には、これらのタイミング以外にもMRI検査を行います。



アミロイド関連画像異常(ARIA)を早期に発見するためにMRI検査が必要です。医師の指示に従い、必ずMRI検査を受けましょう。

ARIAの多くは治療開始24週以内に報告されています。

ケサンラの治療を受けている病院以外を受診する際には、必ずケサンラの治療を受けていることを伝えましょう。

「ケサンラ®治療カード」を常に携帯し、医師・薬剤師に提示してください。



ケサンラと下記のお薬と一緒に使用すると、脳に出血が起こる可能性があります。特に注意が必要です。

- 血栓ができるのを防ぐ薬
ワルファリンカリウム、アスピリン、クロピドグレル硫酸塩など
- 血栓を溶かす薬
アルテプラゼ(遺伝子組換え)など